

第17回 ナーシングヘルスケアネット交流会 報告

日時：平成30年2月16日(金)

場所：北とぴあ 第2会議室

内容：欧州から学ぶ ひとり暮らしでも一人ぼっちじゃない暮らしとは？

講演者：村上紀美子氏

参加者： 52名

内訳

医療機関	行政機関	福祉施設	訪問看護	
13	2	8	13	

アンケート集計(回答数： 46 名)

Q1 「職種」について (人)

看護師	訪問看護師	保健師	看護教員	訪問介護	ケアマネ	主婦	記載なし
25	3	3	1	2	2	8	2

Q2 年齢 (人)

20代	30代	40代	50代	60代	70代
2	7	13	9	10	3

Q3 感想

1)講演

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	
33	4	7	0	

2)懇親会

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	
2	1	2	0	

Q4 本日の講演会をどちらでお知りになりましたか？

友人	職場	上司	ホームページインターネット	その他	
16	16	2	6	1	6

Q4 この会が地域の顔の見える関係づくりに有効だと思うか？

思う	まあ思う	思わない
30	12	1

未回答

今回のテーマや講演。交流会についての感想やご意見(職種記載なし→Ns)

- ・看護師の会と交流できてよかったです。(ケアマネージャー)
- ・介護に関するいろいろなことを知ることができました。知識とは別の次元のことですが、自分自身にすることが自分でできるのか・・・疑問です。(主婦)
- ・改めて人と人との関わり合いを見つめなおしました。ありがとうございました。(看護教員)
- ・いろいろ考えるきっかけになりました。
- ・ヨーロッパの素晴らしいところもあり、日本もまたよりところがあることがわかりました。それを利用する重要なのだなと思いました。
- ・ヨーロッパと日本の話が聞けて良かったです。自分の祖父母への対応など参考にできそうです。る立場、利用する家族の立場での考え方を参考にしていきたいです。
- ・助けすぎず見守る。その通りだなあと思いました。(保健師)
- ・日本では、こんなに広くてきれいな部屋はなさそうで、現実的になかなか難しいのかなあと思いました。日本では大変かなとも実感しましたが、こういう欧米のようなスタイルを目指せばよいと思いました。
- ・貧しいときに一人暮らしができなかった。今は年金があるからできるんだ！！の言葉が印象的で日本人も頑張る。家族もする。基本のことだけれど大切と改めて思いました。(訪問介護)
- ・その人の生活に合わせたサポート。主体は当人なんだなあと改めて感じました。「大変なのはいつながらやっております。励みになりました。ありがとうございます。(保健師)
- ・今度自分が年を取ったとき、娘がいますが頼りにすることができないと思い、もし一人になった場合「ぼっちじゃない暮らしとは」の題が気になり今回参加しました。(飲食業パート)
- ・今後の自分の人生を考えるよい機会となりました(主婦)
- ・欧州に比べて日本は遅れている(主婦)
- ・日本とヨーロッパのほうでは介護の仕方が違うなと感じた。ヨーロッパの方は自立を目的にして日オが多いと感じる。じっくり見守ることが大切だと思う(むやみに手を出して手伝わない)子育てと似て感じた。見守ることの大切さ、子育てと似ている。ためになるお話をありがとうございました。(主婦)
- ・海外の情報が聞くことができ、とても新鮮にお話が聞けました。写真から介護がおしゃれに感じました。
- ・今まで老後がとても不安ではありましたが、今回のお話を聞きまして少し安心した気がいたしました。
- ・自律性の大切さ、意思決定の大切さを改めて感じました。
- ・大変楽しみに参加しました。とても勉強になりました。周囲の方と話すことがとっても良かったです。
- ・これからの自分の生き方を含めて考えることができ良かったです。

その他のご意見・ご感想

- ・進行のタイムテーブルをきちんとしてほしい
- ・今回は男性スタッフが参加していなかったの、男性陣の意見も聞けるような企画もあるといいの
- ・地域の顔の見える関係づくりに有効だと思わない。誰が参加しているのかわからないので、この目のかもしれないと思った。これを目的とするのでしたら、交流会をメイン、討論・グループワークのようがいい気がします。
- ・訪問リハビリ・障害福祉サービスなどの制度について学びたい
- ・困難症例などを聞きたい
- ・新潟県燕市にあります、燕・弥彦医療介護センター(在宅医療・介護連携推進事業)より参りました。いくことを考えていまして、勉強のため参加させていただきました。(北区ナーシングヘルスケアネ

2018年2月21日

	(人)
教育機関	
2	

その他:14名

	(人)
悪い	
0	

	(人)
悪い	
0	

：介護が必要と反案す

トる人、回すシステムが
看護師としての感gなえ

た。お金がまずないと
こ。
た。助けてもらいつつ、
とき」子育てもそう思い
：「一人暮らしでも一人

トは、お世話をするこ
いところがあるなと感

た(保健師)
こ(主婦)

かなあと思います。
目的だと有効ではない
うなものがメインのほう

。看護連携の場を作っ
ットホームページ)